



皆様へ

2012年7月3日

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト  
共同委員長 長谷川 閑 史  
(公社)経済同友会 代表幹事  
箕 浦 輝 幸  
(中部経済同友会 代表幹事)

**IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第2期活動終了のお知らせ**  
**～第1期と合わせ、被災3県の専門高校・大学・育英基金に総額6.1億円の支援を実施～**

2011年3月11日に発生した東日本大震災において、犠牲になられた皆様に深く哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

我々、全国の経済同友会は、大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県の復興を中長期にわたって支援していくため、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」を立ち上げております。このプロジェクトは、被災地の人づくりや産業活性化に向けて、被災地に所在する岩手、仙台、福島各経済同友会の協力の下、各県などと協議しながら真に支援が必要な方々に対して、全国各地の企業・個人よりお預かりしたご厚志を半年ごとにお届けするプラットフォームです。真の復興に向けて“一步一步”進んでほしいという思いを込め、地域経済を担う若者を育成する農業、水産、工業などの専門高校に震災で失われた実習機材の提供、震災で保護者を亡くされた子どもたちを支える各県の支援基金への協力、新事業創造を担う国公立大学への支援などを行っています。

このたび、2月20日より開始した第2期活動が終了しました。企業・法人266社、個人27名の参加を得て、第2期分として頂戴したご厚志2億6,812万6,113円を次頁の通り、それぞれの支援先にお届けさせていただきます。なお、7月中旬より各高校を代表者が訪問して目録をお渡しする他、7月12日・13日に開催する夏季セミナーでは、達増拓也・岩手県知事に目録をお渡しする予定であります。

本プロジェクトは、5年間にわたり復興に向けた被災地支援を継続していく予定であり、第1期と合わせ、総額6.1億円のご厚志を皆様より頂戴しております。8月下旬より開始する予定の第3期活動においても、全国の企業・個人の皆様にご協力いただきながら、専門高校への実習機材の提供などを実施して参ります。

報道各位におかれましては、「IPPO IPPO NIPPON プロジェクト」の活動趣旨をご理解いただき、ご高配を賜りますようよろしくお願いいたします。

■本件問合せ先：

IPPO IPPO NIPPON プロジェクト運営事務局（経済同友会 事務局内）  
藤井 (Tel: 03-3284-0224)、廣川 (Tel: 03-3284-0264 / E-mail: [ippo@doyukai.or.jp](mailto:ippo@doyukai.or.jp))

## ～IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第2期活動概要～

(1) 募集期間：2012年2月20日(月)～2012年6月29日(金)

(2) 参加者数：企業・法人266社(添付参照)、個人27名

(3) 寄附総額：2億6,812万6,113円

### (4) 支援内容

#### 1) 専門高校への実習機材の提供

##### ①岩手県立専門高校 7,428万円相当

種市高校(ポータブルコンプレッサー、潜水実習機材など 2,794万円相当)

久慈工業高校(数値制御旋盤、ホイールローダーなど 2,187万円相当)

大船渡東高校(精密平面研削機、ロックミシンなど 1,141万円相当)

宮古水産高校(浮力調整器具、潜水具(レギュレータ)など 529万円相当)

高田高校(マーク押機、ミシンなど 447万円相当)

久慈東高校(電動介護リフト、電子セオライドなど 106万円相当)

宮古商業高校(音響機器システム 90万円相当)

宮古工業高校(電子セオライド 86万円相当)

##### ②宮城県立専門高校 5,456万円相当

宮城県水産高校(移動式クレーン、マーク押機など 3,309万円相当)

宮城県農業高校(スピードスプレイヤー、耕耘機など 1,905万円相当)

気仙沼向洋高校(教師用師範台、生徒用被服台など 241万円相当)

##### ③福島県立専門高校 7,714万円相当

福島工業高校(内燃機関性能実験装置 1,377万円相当)

郡山北工業高校(立形フライス盤 1,117万円相当)

小高工業高校(CAD、CAMシステム一式 902万円相当)

二本松工業高校(6尺旋盤一式 845万円相当)

勿来工業高校(ガスクロマトグラフィー式 800万円相当)

安達東高校(ダブルキャブトラック 530万円相当)

喜多方桐桜高校(旋盤一式 499万円相当)

岩瀬農業高校(ダンプ 494万円相当)

平工業高校(旋盤一式 486万円相当)

修明高校(小型貨物車 371万円相当)

相馬農業高校(蒸気ボイラー 286万円相当)

2) 国立大学法人による復興事業への支援

①岩手大学三陸復興推進事業	1,222 万 7,023 円
②東北大学東北未来創造イニシアティブ	1,222 万 7,023 円
③宮城大学復興ステーションプロジェクト	822 万 7,023 円

3) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

①みやぎこども育英募金（宮城県運営）	722 万 7,022 円
②ふくしまこども寄附金（福島県運営）	1,222 万 7,022 円

※岩手県が運営する基金は、すでに必要な事業総額を上回る寄付が各方面より寄せられていることから、昨年 11 月の第 3 回運営委員会において支援しない旨を決定した。

4) 二本松市

二本松市放射性測定センターへの寄附	1,000 万円
-------------------	----------

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立ていたしております。

以上

## ～IPPO IPPO NIPPON プロジェクト 第1期活動概要～

(1) 募集期間：2011年10月11日（火）～2012年1月31日（火）

(2) 参加者数：企業・法人212社、個人18名

(3) 寄附総額：3億4,150万8,947円

(4) 支援内容

1) 専門高校への実習機材の提供

①岩手県立専門高校 5,985万円相当

高田高校（小型トラック、冷凍冷蔵庫など 2,634万円相当）

釜石商工高校（情報処理実習室用PCなど 1,903万円相当）

宮古工業高校（空気調和実習室用機材など 954万円相当）

種市高校（和船、船外機、水中カメラなど 623万円相当）

大船渡東高校（調理実習用和洋中食器一式 86万円相当）

久慈工業高校（発電機、LED投光器など 55万円相当）

②宮城県立専門高校 6,399万円相当

宮城県農業高校（52人乗り大型バス 1,746万円相当）

宮城県水産高校（46人乗り中型バス 1,243万円相当）

気仙沼向洋高校（同中型バス、被服室備品など 3,410万円相当）

③福島県専門高校 1億1,641円相当

磐城農業高校（鶏舎用設備、トラクターなど 5,242万円相当）

いわき海星高校（小型教習艇、端艇、ヨットなど 6,399万円相当）

2) 国立大学法人による復興事業への支援

①岩手大学三陸復興推進事業 2,000万円

（三陸地域復興センター）

②東北大学災害復興新生研究機構 1,400万円

（災害科学関係人材育成事業）

3) 震災遺児・孤児の支援基金への寄附

①いわての学び希望基金（岩手県運営） 3,156万2,567円

②みやぎ子ども育英募金（宮城県運営） 2,556万2,568円

※第1期活動の支援先を決定した昨年7月の第1回運営委員会の開催時点では、福島県が設置運営する「ふくしま子ども寄附金」は設置されていなかったため、支援を実施しておりません（第2期活動では、支援を実施する予定です）。

(5) 備考

IPPO IPPO NIPPON プロジェクトは、事務作業等に要する費用を（公社）経済同友会が負担し、参加法人・個人からお預かりしたご厚志は、全額、被災地支援にお役立っていたしております。

以上